

週3日開店の喫茶

「ほっとひととき」

忠岡町 ひまわりの会

「ふれあいサロン ほっとひととき」は、忠岡町の高月北老人会（ひまわりの会）（今井 登代二会長）が7年前から開いている喫茶です。火・金・日曜の週3日、自治会の集会所で開店し、地域の人たちが気楽に集う場になっています。

開店時間は午前9時〜12時のモーニングタイム。ハムトーストやホットドッグにサラ



集まった人たちが楽しく話がはずみます

コムで評判が広がって、現在は地区外から50人が訪れます。常連客の安田ミツさんは「ここに来たら顔見知りと会えて、みんなでわいわい話ができる。一番楽しい場所です」と話します。日曜や小・中学校が休みの日には、親子連れや子どもの来店もあり、世代を超えたふれあいが生まれています。

週3日のペースで開店するには、前日に食材の買い出しをするため、週に6日活動する必要があり、スタッフは大忙し。でも、「みんなが楽しみにしてくれていて、ここに来て笑って話しているのを見るのがうれしい」馬場利美（とよみ）さん（喫茶部長）とやりがいを感じて、元気に続けています。

ここ高月北地区は、以前は道で会ってもあいさつもしないほど住民の関わりが希薄でした。それが、喫茶を6年間続けているうちに、お互いに知り合いになり、人のつながりができてきました。今井会長は「一人暮らしの人や引きこもりがちの人にも、もっと来てもらいたい」と話します。

常連客の人がしばらく顔を見せない、民生委員に連絡して安否確認に行ってもらうこともしており、この喫茶は住民同士の見守り活動にも役立っています。



スタッフは馬場利美さん、今井寿子さん、土井八代子さん、道上清子さん

会員増強にも効果 「楽しい敬友会のつどい」

箕面市 箕面北敬友会

箕面市の箕面北敬友会（箕面北第1敬友会、第2敬友会、第3敬友会の連合組織）では、



第1部ではピアノの演奏に乗って懐かしの歌を歌います

90人が集まるといふ気がです。このつどいを始めた動機を、箕面北第2敬友会の山本躬行会長はこう話します。

「老人クラブがどんな活動をしているのか、まだまだ地域で知られていません。『年寄りくさい』などとネガティブなイメージを持っている人も多いようです。そこで、『こんなに楽しいことをやっているんだ』と見せたい」と話します。

第1部は、懐かしの歌を歌う時間。箕面市民合唱団員の平尾喜代次さんがリードし、ピアノの須崎多恵子さんのグランドピアノ

の演奏に乗って、童謡・唱歌や歌謡曲をみんなで歌います。第2部は、演芸の時間。地域のボランティア芸人が披露するマジックや落語に大笑いします。



第2部ではボランティア芸人の演芸に大笑い

参加者の皆さんは、この催しをとても楽しみにしています。昨年11月21日のつどいの場で話を聞くと、「歌が大好きなので、みんなと誘い合って来ます。ふだんは会えない人と、ここで会えるのもうれしい」（佐藤幸子さん）、「声を出すこ

とが非常に身体にいいですね。以前は引きこもりがちの生活でしたが、外に出るいい機会になっていきます」（富田直亮さん）といった声が上がりました。

箕面北第2敬友会の場合、5年前につどいを始めてから、81人だった会員数が現在124人にまで増えています。

地域に開かれた形で、みんなが楽しめることが、会員増強につながっているのです。